

A104		仏教と美術	
英名科目名	Buddhism and the Arts		
大学名	大谷大学		
連絡先	教務課 TEL 075-411-8117 FAX 075-411-8150		
担当教員	堅田 理		
開講期間	2021年09月07日(火)～2021年09月09日(木) 2～6講時 10:40～19:30(昼休みを含む)		
開講形態	夏期集中	開講曜日・講時	
単位数	2	履修年次	1～4学年
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	120		
単位互換生定員	20	京カレッジ生定員	10
試験・評価方法	平常点と試験の総合評価 平常点50%(授業への出席と、取り組みの姿勢を評価。)・定期試験50%(授業全体についての理解と思考を評価の対象とする。)		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料	聴講料 15,000円		
別途負担費用	未定		
その他特記事項	<p>【質問・相談の方法】 各テーマの授業の後半に質問の時間を設ける。</p> <p>【担当者からの連絡】 富田珠雲氏(2回・3回担当)は、仏師として、その作品の製作過程や背景にある仏教思想との関わりなどについて講義を行い、レリーフ作成の実習を指導する。 畑正高氏(4回担当)は、香老舗店の経営者であり、香文化と仏教との関わりについて講義を行う。 渡邊豊和氏(7回・8回担当)は、社寺建築会社の専務であり、宮大工や社寺の設計監理の経験をもつ。社寺建築の技法の特徴や建築事例などの解説のほか、鉋がけの実習を指導する。 和谷篤樹氏(9回担当)は、和蠟燭店の経営者であり職人でもある。和蠟燭の製作工程等についての講義を行うとともに、朱かけ体験実習の指導をする。 物部泰典氏(12回・13回担当)は、表具師として、表具の工程の解説や文化財修復のあり方の講義を行うとともに、裏打ちの実習を指導する。 安田容造氏(14回担当)は、念珠店の経営者であり職人でもある。念珠の製作工程や背景にある思想、宗派による違いなどについての講義を行う。 以上のゲストスピーカーはいずれもその道の一流の職人かつ経営者であり、伝統文化に携わる生の声を伝えていただける貴重な機会であると考えています。</p>		
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			
講義概要・到達目標	<p>【授業テーマ】 荘嚴の世界</p> <p>【授業概要】 荘嚴とは、目に見えない仏の世界を形にあらわすことである。仏教に関わる美術や工芸が、寺院の荘嚴をどのように実現しているのか、実際にその仕事に携わっている方々を講師として迎え、その技術や思想について学ぶ。そのことを通じて京都の伝統文化のあり方が明らかになる。</p> <p>【学習到達目標】 仏の荘嚴は、京都の伝統文化によって支えられ実現している。それらの歴史的・文化的背景を考える講義とともに、実際に京都の伝統</p>		

文化を支える仕事を行っている方々をゲストとして迎え、文化を支えている現場の生の声と、体験を通じて、机上だけではなく、本物の伝統文化に触れる機会をもつ。そして、それら荘嚴に関わる一つ一つの文化が、どのように仏教と関わるのかを考える。

講義スケジュール

【学習内容】

1. 講義の目的と概要：1日目の予習講義 荘嚴と伝統文化
2. 仏を造形する仏師の仕事 (富田工藝：富田珠雲氏)
3. 仏を造形する仏師の仕事 (同上)
4. 香の文化と仏教(松栄堂：畑正高氏)
5. 1日目の総括
6. 2日目の予習講義一本願寺門前町と伝統文化
7. 社寺建築の美と宮大工の仕事 (藤田社寺建設：渡邊豊和氏)
8. 社寺建築の美と宮大工の仕事 (同上)
9. 和蠟燭の伝統と朱かけ体験(わた悟：和谷篤樹氏)
10. 2日目の総括
11. 3日目の予習講義
12. 京表具の技術と裏打ち体験 (物部画仙堂：物部泰典氏)
13. 京表具の技術と裏打ち体験 (同上)
14. 数珠の世界(安田念珠店：安田容造氏)
15. 試験

【授業方法】

- 第1回：真宗寺院の荘嚴と伝統文化の関わりについての講義
第2回：講師による仏像彫刻についての講義と、レリーフ作成の実習。
第3回：講師による仏像彫刻についての講義と、レリーフ作成の実習。
第4回：香の歴史と仏教との関わりについての講義
第5回：小レポートの作成。
第6回：寺院と寺内町(門前町)との関わりについての講義
第7回：講師による社寺建築についての講義と、鉋がけ体験。
第8回：講師による社寺建築についての講義と、鉋がけ体験。
第9回：講師による和蠟燭についての講義と、朱かけの実習。
第10回：小レポートの作成。
第11回：寺院の荘嚴と五感との関わりについての講義
第12回：講師による表具についての講義と、裏打ちの実習。
第13回：講師による表具についての講義と、裏打ちの実習。
第14回：数珠の宗教性や製作技法、宗派による違いなどについての講義
第15回：記述式の筆記試験

【準備学習(予習・復習)・時間】

- 第1回：授業内容を正確に把握すること。30分
第2回：講義内容の把握と、実習により感じたことを整理しておくこと。30分
第3回：講義内容の把握と、実習により感じたことを整理しておくこと。30分
第4回：講義内容を正確に把握し、感想を整理しておくこと。30分
第5回：一日の講義を通じて感じ、考えたことを整理する。60分
第6回：授業内容を正確に把握すること。30分
第7回：講義内容の把握と、実習により感じたことを整理しておくこと。30分
第8回：講義内容の把握と、実習により感じたことを整理しておくこと。30分
第9回：講義内容を正確に把握し、感想を整理しておくこと。30分
第10回：一日の講義を通じて感じ、考えたことを整理する。60分
第11回：授業内容を正確に把握すること。30分
第12回～第14回：講義内容の把握と、実習により感じたことを整理しておくこと。30分
第15回：講義全般を通じて感じ、考えた内容を整理しておくこと。60分

教科書	授業中に必要な資料を配布する。
参考書	必要に応じて指示する。